

# Panasonic

## プロセッサユニット

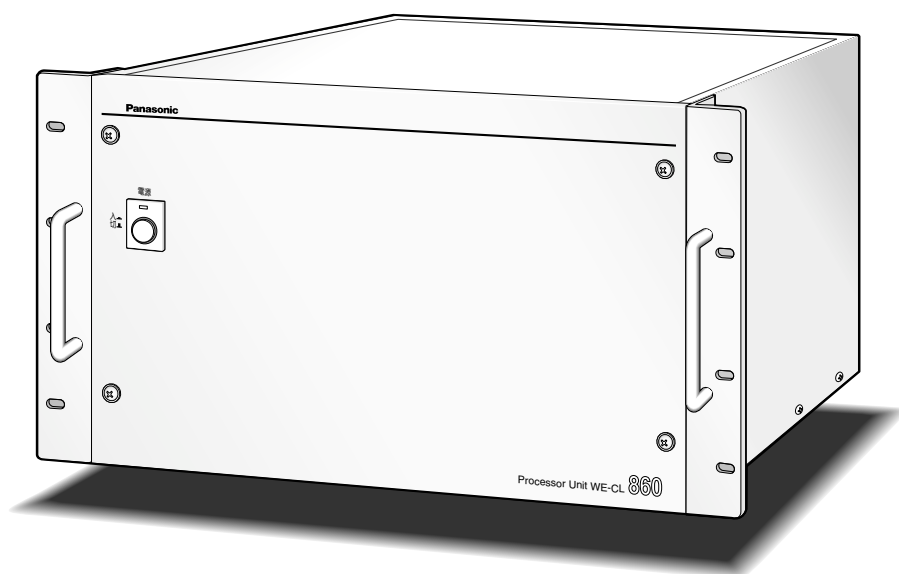
取扱説明書 工事説明付き

品番 WE-CL860

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、  
販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使うって上手に節電

このたびは、プロセッサユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

- マルチメディア授業支援システム用のプロセッサユニットです。
- 3WE-ZC861（別売品）を増設（最大10枚）することにより、スチューデントユニットWE-CB80（別売品）が1枚あたり8台接続可能になります。
- リレーカードWE-ZC862（別売品）を増設することにより、メイク接点による外部制御が行えます。

## 付属品をご確認ください

SP CONT接続ケーブル(3m).....	1	取扱説明書(本書).....	1
カード番号ラベル .....	1シート	保証書 .....	1
スイッチプロテクター .....	1		

## 商標について

- L<sup>3</sup>stageは、松下通信工業(株)の登録商標です。
- WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

## 本書の見かた

本書で使用している用語について

- システム ..... マルチメディア授業支援システムのことです。  
制御PC ..... マルチメディア授業支援システムで使用する制御用パソコンのことです。  
先生PC ..... マルチメディア授業支援システムで使用する先生用パソコンのことです。  
学習者PC ..... マルチメディア授業支援システムで使用する学習者用パソコンのことです。

# もくじ

---



商品概要 .....	2
付属品をご確認ください .....	2
商標について .....	2
本書の見かた .....	2
安全上のご注意 .....	4
使用上のお願い .....	6
各部の名前と働き .....	7
電源の入れかた .....	8
工事説明	
システム構成 .....	10
接続できる機器 .....	10
システム構成図 授業パターン例 1 .....	14
システム構成図 授業パターン例 2 .....	16
システム構成図 授業パターン例 3 .....	18
設置の前に	
設置上のお願い .....	20
設置工事手順 .....	21
電源 ( AC100V ) の配線 .....	22
標準的な設置例 .....	22
電源ノイズの対策 .....	23
電源制御端子の使いかた .....	23
カードの設定・組み込み .....	24
RGBカードのスイッチ設定 .....	24
別売カードの組み込みかた .....	25
接続のしかた .....	26
マスターテープレコーダー ( WE-LM51 ) の接続 .....	26
音声サーバー HUB パソコンの接続 .....	27
ラックマウントのしかた .....	28
ソフトウェアのインストール / 設定 / 動作確認 .....	29
設置 ~ 運用・メンテナンスの手順 .....	30
仕様 .....	31
保証とアフターサービスについて .....	32

# 安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出るなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

### ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

### 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### ケーブルを傷つけない



重いものをのせたり、はさんだりするとケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

禁止

### 配線は正しく行う



ショートや誤配線により火災の原因となります。

## ⚠ 注意

### 落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

### 湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

### 機器の上に水などの入った容器を置かない



水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- ただちに電源制御ユニットの電源を切り、販売店にご連絡ください。

### 通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

# 使用上のお願い

---

**⚠ 警告、⚠ 注意**に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

## ソフトウェアについて

本機の操作は、パーソナルコンピュータ上にインストールされたシステムソフト（別売品）により行われます。詳しくはシステムソフトWE-AS860の取扱説明書をご参照ください。

## 静電気について

空気が乾燥すると、ブラウン管面に静電気が発生しやすくなります。ブラウン管面にほこりがついたり、指先がパチパチするようなときは、必ず電源スイッチを切ってから柔らかい布を水でしめらせ、よくしぼってからふいてください。

## 使用電源は

AC100 Vです。

消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

## 電源スイッチについて

電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

## 使用温度範囲は

0 ~ +45 です。この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、故障または誤動作の原因となります。

## アースについて

必ず、アースねじから大地にアースをとってください。アースをしないと発振したり、故障の原因となることがあります。

## お手入れについて

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。

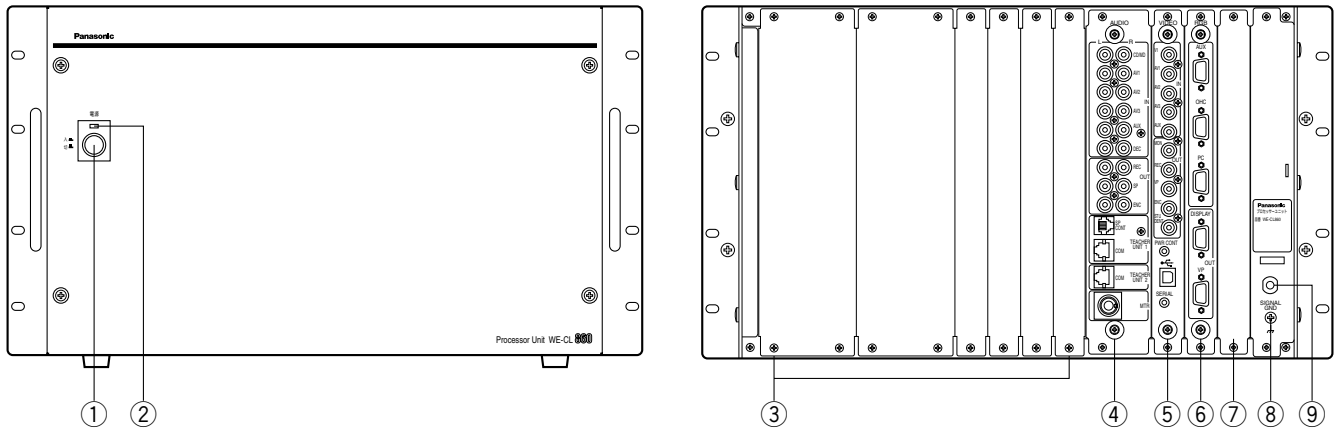
ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。

ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

# 各部の名前と働き

## 前面



### ① 電源スイッチ [電源入 / 切]

- 本機の電源を入 / 切します。押すと「入」、戻すと「切」です。押すと電源表示が点灯します。
- 電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、ACコンセントから本機の電源プラグを抜いてください。

### ② 電源表示

電源スイッチが「入」でAC電源が供給されているときに点灯します。

### ③ コミュニケーションカード装着部 (最大10枚)

スチューデントユニットWE-CB80 (別売品) を接続するとき、コミュニケーションカードWE-ZC861 (別売品) を組み込みます。1枚で8台のスチューデントユニットWE-CB80 (別売品) が接続できます。

### ④ AUDIOカード

音声信号の切り換えを行います。

### ⑤ VIDEOカード

ビデオ信号の切り換えを行います。

### ⑥ RGBカード

RGB信号の切り換えを行います。

### ⑦ リレーカード装着部

メイク接点による外部制御を行う必要があるとき、リレーカードWE-ZC862 (別売品) を組み込みます。16接点制御可能です。接点16は、VPの映像切替専用です。

### ⑧ アースねじ

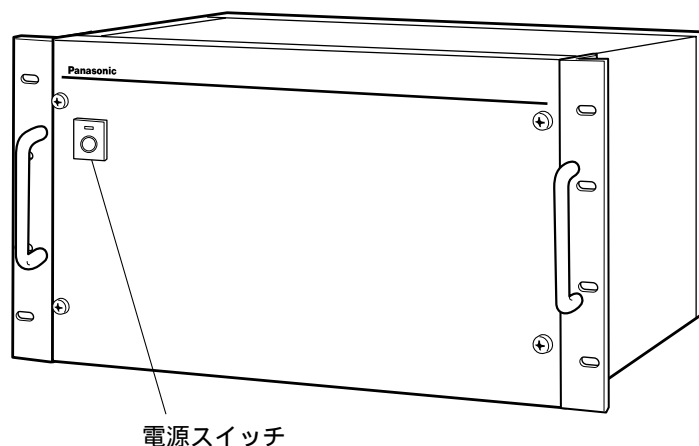
並べかえる。

### ⑨ AC電源コード

AC100 V 50 Hz / 60 Hzへ

# 電源の入れかた

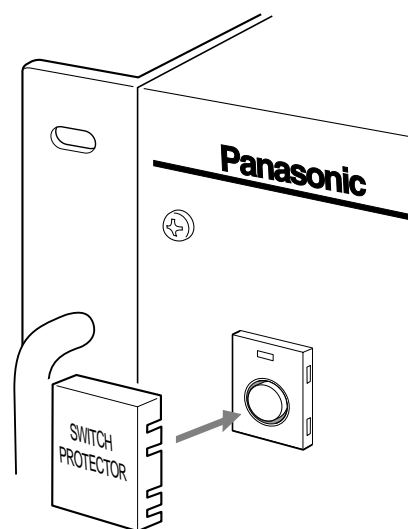
- ① 電源スイッチを押して「入」にします。



## スイッチプロテクター（付属品）について

本機の電源スイッチ以外で電源を入/切して使用する場合は、必ず電源スイッチを「入」の状態にして、付属のスイッチプロテクターを取り付けてください。誤って電源スイッチが押され、「切」の状態になることを防止します。

電源スイッチが「切」の状態では、電源を入/切できません。



## メモ

電源の入/切を本機の電源スイッチで行う使用方法のときは、スイッチプロテクターを取り付けないでください。緊急対応時などのときに、電源スイッチをすぐに押せません。



---

# 工 事 説 明

## 警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。感電や火災の原因になります。
- 安全のため、安全上のご注意に記載されている内容をお守りください。
- 工事を始める前に必ず各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

# システム構成

## 接続できる機器

システム構成図授業パターン例 ( 14ページ ~ 19ページ ) をご参照ください。

	品名	別売品番 ( 仕様 )	接続可能台数			備考
			P1	P2	P3	

### マスター部

①	プロセッサユニット	WE-CL860 ( 本機 )	1			
②	コミュニケーションカード	WE-ZC861	1 ~ 10			
③	リレーカード	WE-ZC862	0 ~ 1			
④	ティーチャーユニット	WE-CM80	1			
⑤	スチューデントユニット	WE-CB80	0 ~ 1			
⑥	システムソフト	WE-AS860	1			
⑦	オーサリングソフト	WE-AS870	1			
⑧	ヘッドセット	WE-HS21または市販	1 ~ 3			
⑨	電源制御ユニット	WU-L62	0 ~ 必要数			
⑩	マイクロホン ( 卓上型 )		必要に応じて			
⑪	制御PC本体 + タッチパネルディスプレイ	*1	1			
⑫	先生PC本体 + CRT	*1	1			
⑬	タッチパネルディスプレイ					
⑭	-----	-----				
⑮	スイッチングHUB	3C16986A	1( 1 ~ 21 ) ~ 3( 45 ~ 80 ) *1			3com Super Stack3 Switch 3300TM
⑯	スイッチングHUB	3C16988A	0 ~ 1( 22 ~ 45 ) *1			3com Super Stack3 Switch 3300MM
⑰	Switch Matrix ケーブル	3C16965	0 ~ 3			3com 3300MM - TM間
⑱	-----	-----				

### AV教材機器

\*1 ( ) 内は学習者PCの数

⑲	ルームスピーカー		2			
⑳	アンプ		1			
㉑	オーバーヘッドカメラ	RGB(WE-HV80)またはNTSC(WE-	1			
㉒	ダウンコンバーター		0 ~ 1			WE-HV80接続時必要
㉓	-----	-----				
㉔	ビデオプロジェクター	RGB + NTSC入力	1	1	1	
㉕	VTR		必要に応じて			
㉖	MTR	WE-LM51	1	1	1	ACアダプターDC12 V 1 A必要
㉗	PanaBox	AG-VC205	0 ~ 5			
㉘	MD/CD		1			
㉙	DVD/CD		必要に応じて			
㉚	先生用モニター	NTSC	1			
㉛	RGB 分配器		1	0	0	
㉜	アップコンバーター		1	1	0	
㉝	-----	-----				

### 音声サーバー部

③④	PC本体 + CRT	P3 933 MHz以上	1	
③⑤	拡張メモリー	256 MB以上	1	
③⑥	データディスク		2	SCSI Ultra 160、回転数10000 rpm以上
③⑦	SCSIカード		1	SCSI Ultra 160対応
③⑨	無停電電源		1	共通オーディオ / ファイル配信サーバー
④⑩	Windows2000Server		1	
④①	-----			

### ファイル配信サーバー部

④②	LAN	1000 MbPS	1	
④③	PC本体 + CRT	P3 933 MHz以上	1	
④④	拡張メモリー	256 MB以上	1	
④⑤	データディスク		1	SCSI Ultra 160対応、回転数10000 rpm以上
④⑥	SCSIカード		1	SCSI Ultra 160 対応

### ブース部

④⑦	スチューデントユニット	WE-CB80	1 ~ 80	
④⑧	ヘッドセット	WE-HS21または市販	1 ~ 80	
④⑨	ブースモニター	NTSC/RGB入力	生徒台数の半分	2人に1台のとき
⑤⑩	学習者PC + CRT	*2(⇒13ページ)	1 ~ 80	

### ケーブル類：音声系

⑤①	ティーチャーユニット - プロセッサユニット	UTPケーブル カテゴリー5 ストレート	1	
⑤②	-----			
⑤③	スチューデントユニット - プロセッサユニット		スチューデント ユニットの台数分	
⑤④	ティーチャーユニット - プロセッサユニット	SPCONTケーブル	1	本機に付属
⑤⑤	プロセッサユニット - AV機器	RCAステレオプラグ	最大6	必要数
⑤⑥	プロセッサユニット - AUX機器	RCAステレオプラグ	0/1	システム構成により選択
⑤⑦	プロセッサユニット - 制御PC本体	RCAステレオプラグ	2	
⑤⑧	プロセッサユニット - 先生PC本体	ステレオミニプラグ	1/0	システム構成により選択
⑤⑨	ティーチャーユニット - 先生PC本体	ステレオミニプラグ	0/1	システム構成により選択
⑥⑩	-----			
⑥①	スチューデントユニット - 学習者PC本体	ステレオミニプラグ	スチューデントユニッ トの数×2	
⑥②	-----			

# システム構成

## ケーブル類：映像系

⑥3	先生PC本体 - プロセッサユニット	RGB - RGB	1			シュリンクD-SUB15P
⑥4	先生CRT - プロセッサユニット		1			CRTに付属の場合が多い
⑥5	アップコンバーター - プロセッサユニット		1	1	0	
⑥6	ダウンコンバーター - プロセッサユニット		0/1			ダウンコンバーター使用時
⑥7	RGB分配器/VP - プロセッサユニット		2	1	1	
⑥8	RGB分配器 - 学習者RGBモニター		1以上	0	0	長さに応じて最適化が必要
⑥9	プロセッサユニット - AV機器	RCAプラグ - RCAプラグ	最大5			必要数
⑦0	プロセッサユニット - OHC/ダウンコンバーター	RCAプラグ - 機器側コネクター	1			
⑦1	プロセッサユニット - アップコンバーター/VP	RCAプラグ - 機器側コネクター	1	1	1	
⑦2	プロセッサユニット - 学習者NTSCモニター	RCAプラグ - 機器側コネクター	0	1以上	1以上	分配器などを使用すること
⑦3	-----					

## ケーブル類：制御系

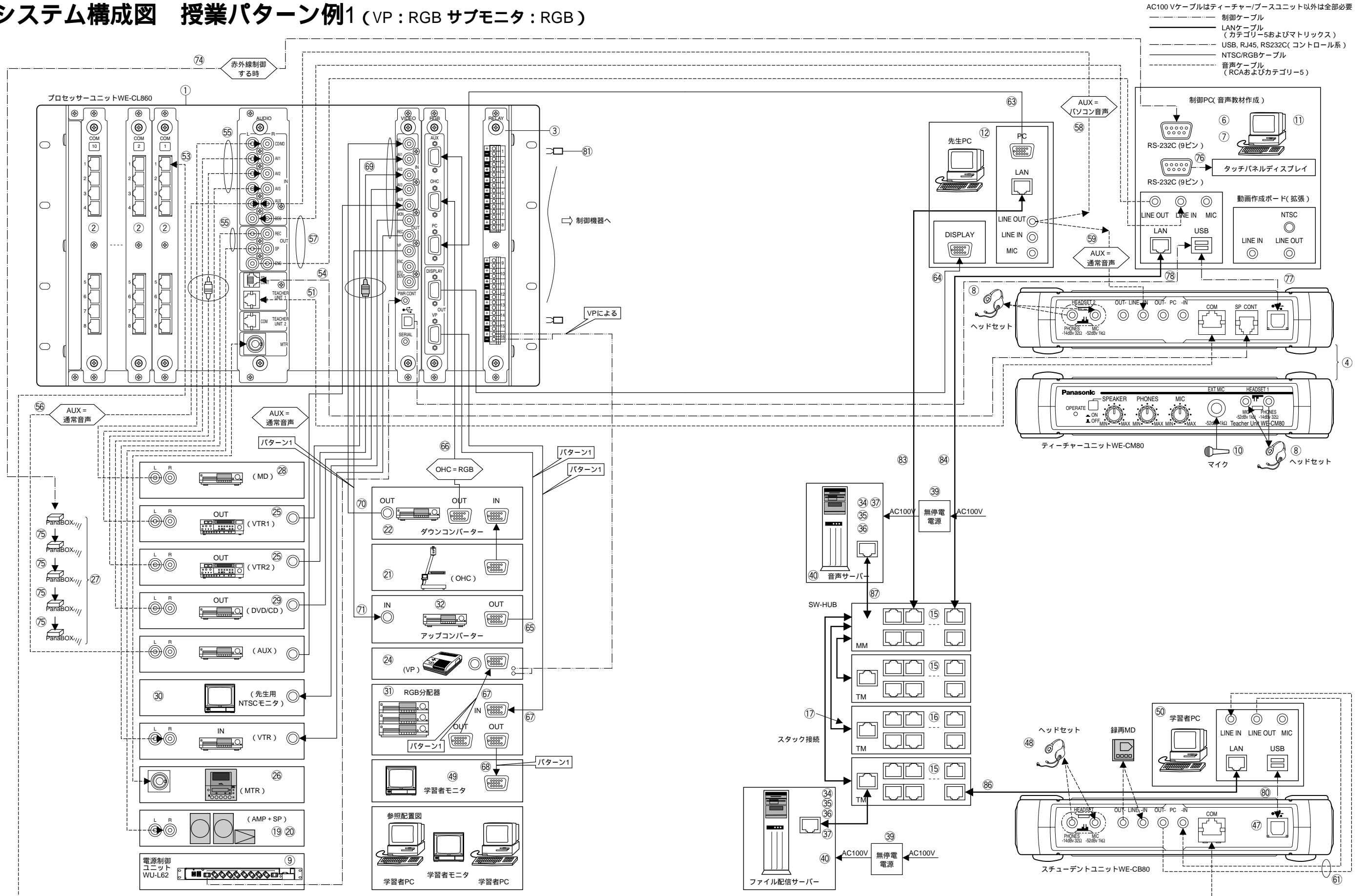
⑦4	制御PC本体 - panaBox	RS-232Cケーブル ストレート	0~1			panaBox参照 9Pメス - 25Pオス
⑦5	panaBox - panaBox	RS-232Cケーブル ストレート	0~4			panaBox参照 25Pメス - 25Pオス (付属品)
⑦6	制御PC本体 - タッチパネル ディスプレイ	RS-232Cケーブル	1~2			CRTに付属の場合が多い
⑦7	制御PC本体 - ティーチャー ユニット	USBケーブル	1			
⑦8	制御PC本体 - プロセッサ ユニット		1			
⑦9	-----					
⑧0	学習者PC本体 - スチューデントユニット		学習者PCの数			
⑧1	プロセッサユニット - 制御インターフェース	リレー接点 - 各種機器間ケーブル 接点容量： DC30 V/1 A以内	0~16			使用可能電線： 単線 0.4~ 1.2(AWG26~ 16)より線0.3 mm <sup>2</sup> ~ 1.25 mm <sup>2</sup> (AWG22~ 16)
⑧2	-----					

**ケーブル類 : LAN**

⑧③	先生PC本体 - HUB		1	
⑧④	制御PC本体 - HUB	UTPケーブル カテゴリ-5 ストレート	1	
⑧⑤	-----			
⑧⑥	学習者PC本体 - HUB		学習者PCの数	
⑧⑦	音声サーバー - HUB		1	
⑧⑧	HUB - HUB (カスケード)	3C16965	0 ~ 3	3com 3300MM - TM間
<p>CRT要求スペック XGA以上</p> <p>コンピューター要求スペック (サーバー除く)</p> <p>対応機種      DOS/V互換機</p> <p>OS              Microsoft Windows2000 Pro</p> <p>CPU             Pentium III 600 MHz以上</p> <p>メインメモリ   128 MB以上 (制御PCは256 MB以上)</p> <p>*2 HD空き容量   2 GB以上 (アプリケーションのインストールと動作時の作業容量として)</p> <p>CD-ROM        必要</p> <p>FDD             必要</p> <p>サウンド        Sound Blaster互換</p> <p>外部I/F         XGA (1024 x 768) 256色以上 USB (ポート数 : 2) VER1.1以上 シリアルポート (2個) 100 BASE-T LAN (100M) キーボード、マウス</p>				

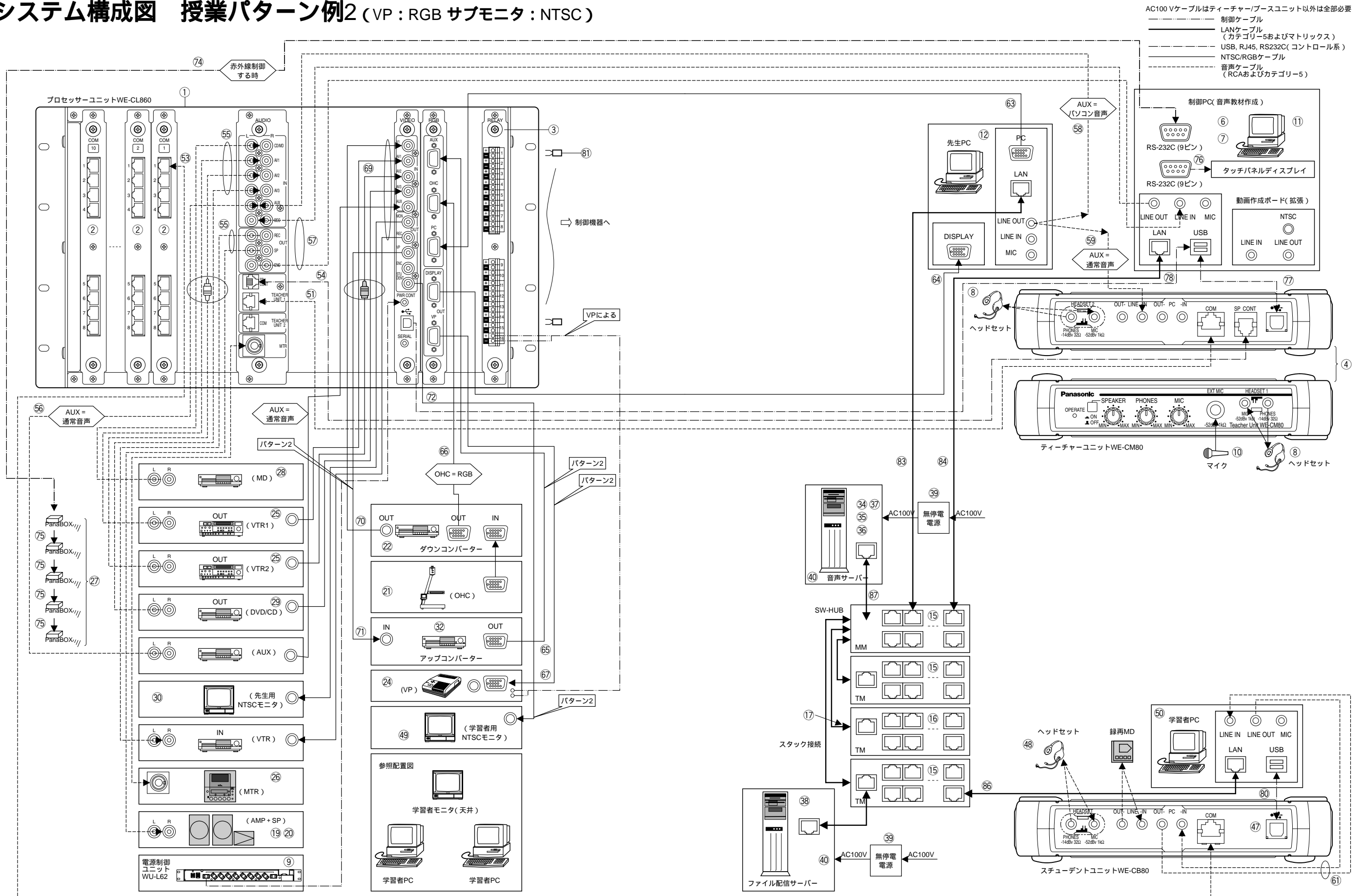
# システム構成

## システム構成図 授業パターン例1 (VP:RGB サブモニタ:RGB)



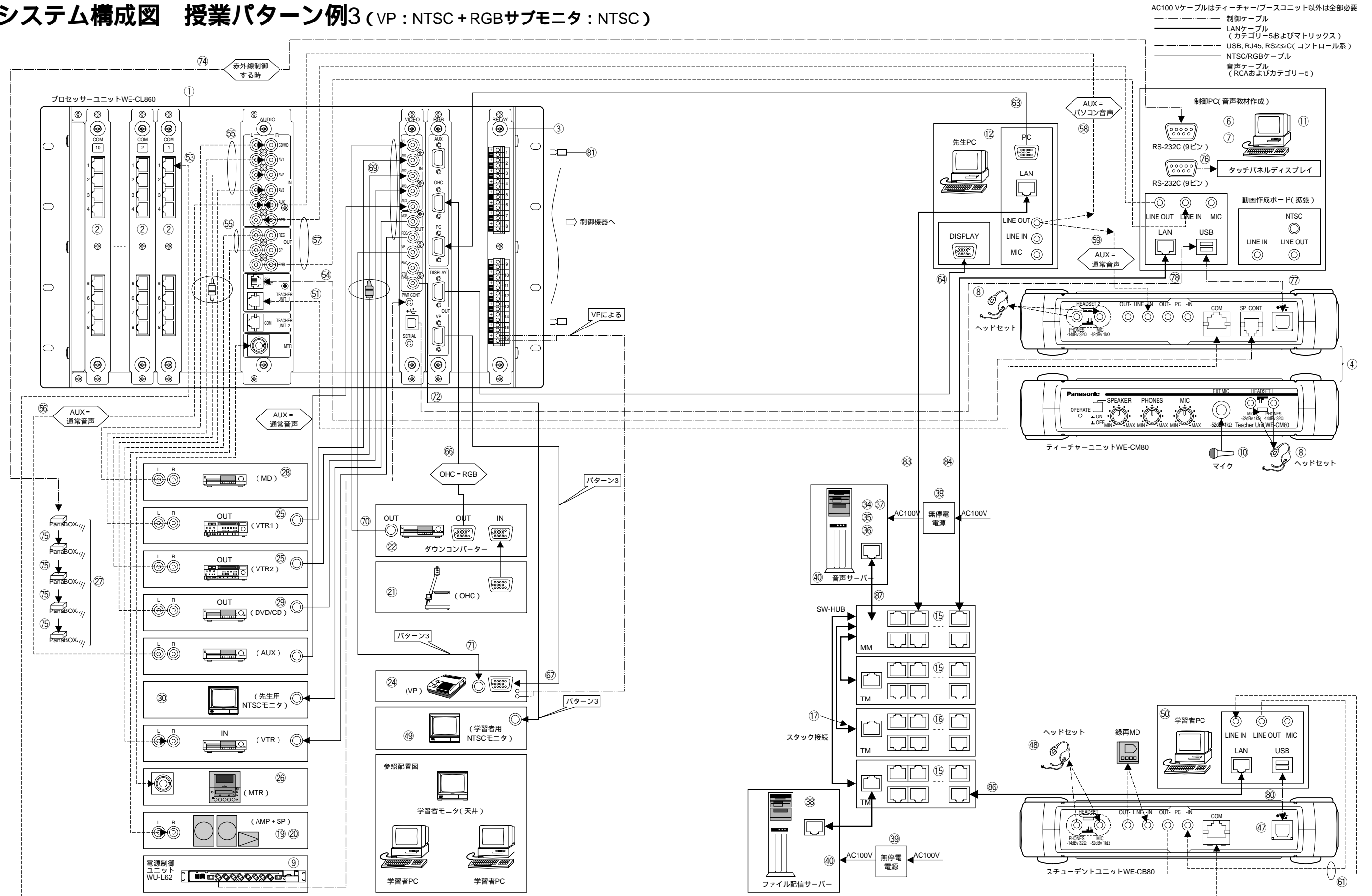
# システム構成

## システム構成図 授業パターン例2 (VP:RGB サブモニタ:NTSC)



# システム構成

システム構成図 授業パターン例3 (VP : NTSC + RGBサブモニタ : NTSC)





# 設置の前に



## 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

## 設置上のお願ひ

- システムを確認し、構成機器や工事部品、線材、コネクターなどに欠品がないよう準備をしてください。
- 電源電圧はAC 100 Vです。構成機器の消費電力を合算し、電源容量が不足して電圧が下がらないように、十分余裕をとって電源工事をしておいてください。
- ブースの配線・接続は床にピット（通線溝）を設置すると、きれいに仕上がります。
- 同一室内に、調光器を設置しないでください。

## 設置場所について

- つぎの場所には設置しないでください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。  
直射日光のあたるところや温風吹き出し口の近く。  
湿気やほこり、油煙、振動の多い場所。
- 通風孔をふさいだり、壁などに近づけて設置しないでください。本機の天面は、壁面から5 cm以上離して設置してください。
- 電波受信機（ラジオやテレビ、ワイヤレスマイクの受信機）の近くで使用すると、電波受信機側で雑音や誤動作の原因となることがあります。本機と電波受信機はできるだけ離してご使用ください。また、配線は電灯線などに近づけて引き回さないでください。雑音が入ったり、誤動作をおこす場合があります。

## 設置方法について

- 本機は縦置きでは使用できません。必ず横置きで設置してください。
- ラックに取り付けて使用する場合は、ラック内の温度が+45℃以上にならないように他の機器と十分に間を（1U以上）空けて取り付けてください。またはファンを取り付けてください。

## 電源について

- 電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
  - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
  - (2) 接点距離が3.0 mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源の全ての極が遮断できるものを使用すること。

## システム設定について

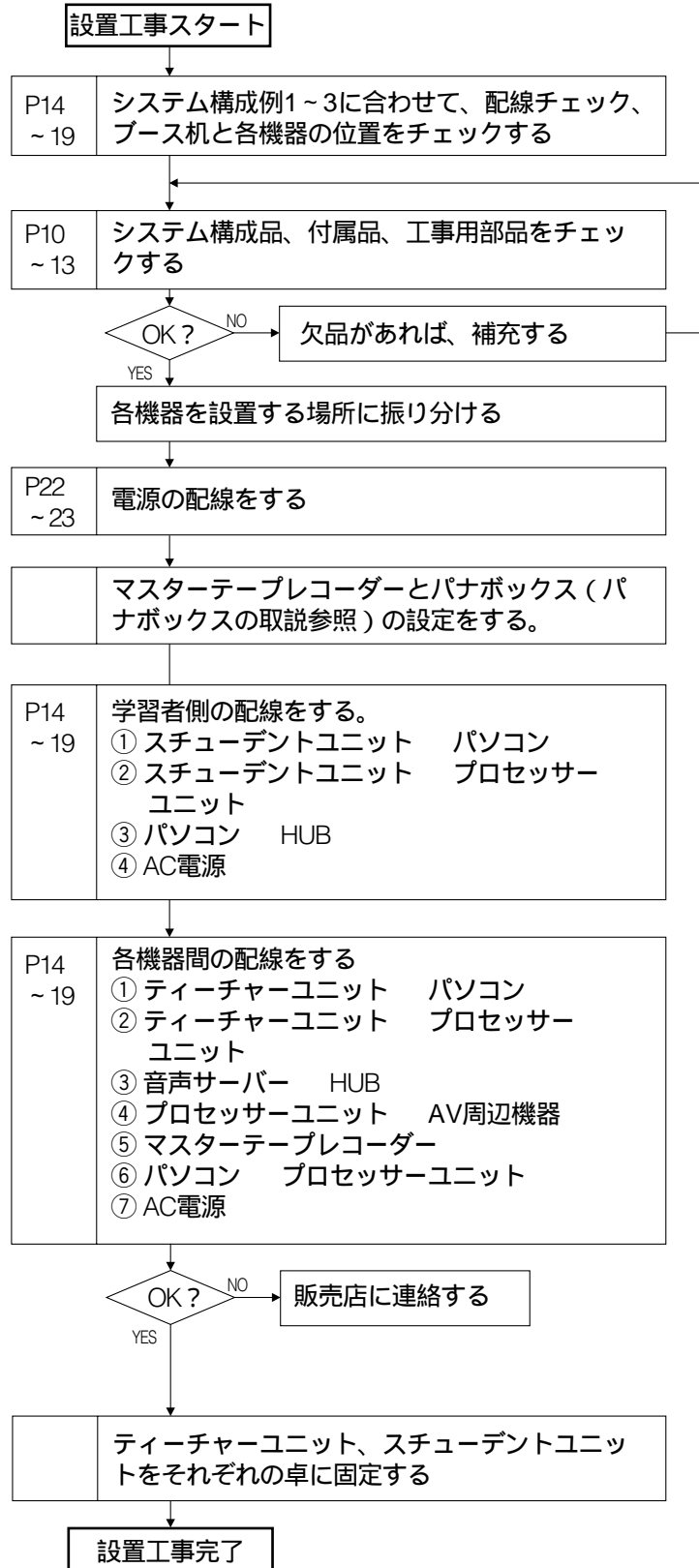
システムソフトWE-AS860（別売品）の、ユーティリティの設定「AV機器設定」により、使用する機器と接続を変更することができます。

接続例は、14ページ～19ページをご参照ください。

ソフトウェアの設定は、ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

# 設置工事手順

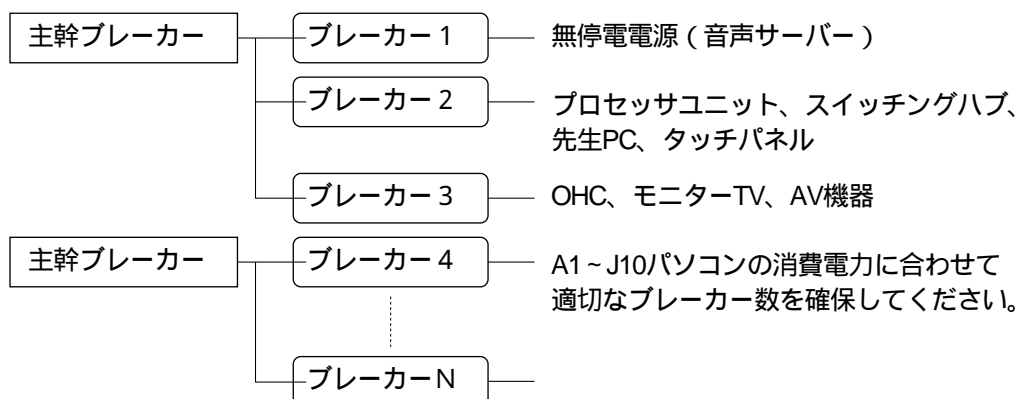
設置工事は、以下の手順に従って行ってください。参照ページが記載してある項目は、本書の該当ページをお読みください。



# 電源( AC100V )の配線

電源コードは、必ず遮断装置を介して接続してください。ブレーカーは、接点距離が3.0 mm以上有する分電盤のもので、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用してください。

## 標準的な設置例



音声サーバーは単独で電源を取ってください。

配線後にブレーカーを入れる際には、主幹ブレーカー、ブレーカー 1 ~ Nの順に入れてください。

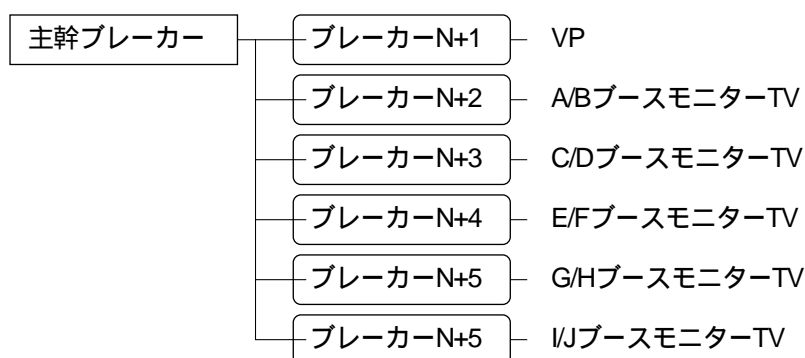
プロセッサユニットは、接地工事をしてください。

漏電ブレーカーを使用される場合は、機器によりリーク電流が異なりますので、ご注意ください。

一斉に電源を投入しますと、突入電流でブレーカーが焼き付いたり、電圧降下で他の機器が誤動作することがあります。

音声サーバーは、無停電電源から電源供給することをおすすめします。

## ブースモニターTVを設置する場合：



ブースモニターTV電源は、幹線を分けてください。

ブースモニターTV電源のブレーカー容量は、ブースモニターTVの仕様を参照して計算してください。

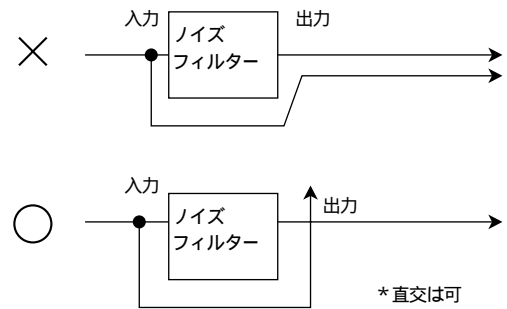
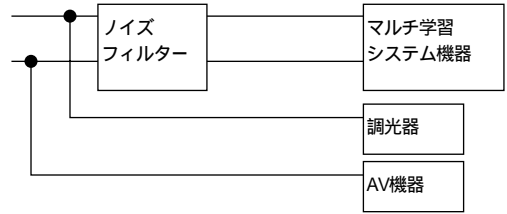
ブースモニターTVの電源投入後、マルチ学習システム機器の電源を投入してください。

### 重要

各機器の電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、ACコンセントから電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってください。

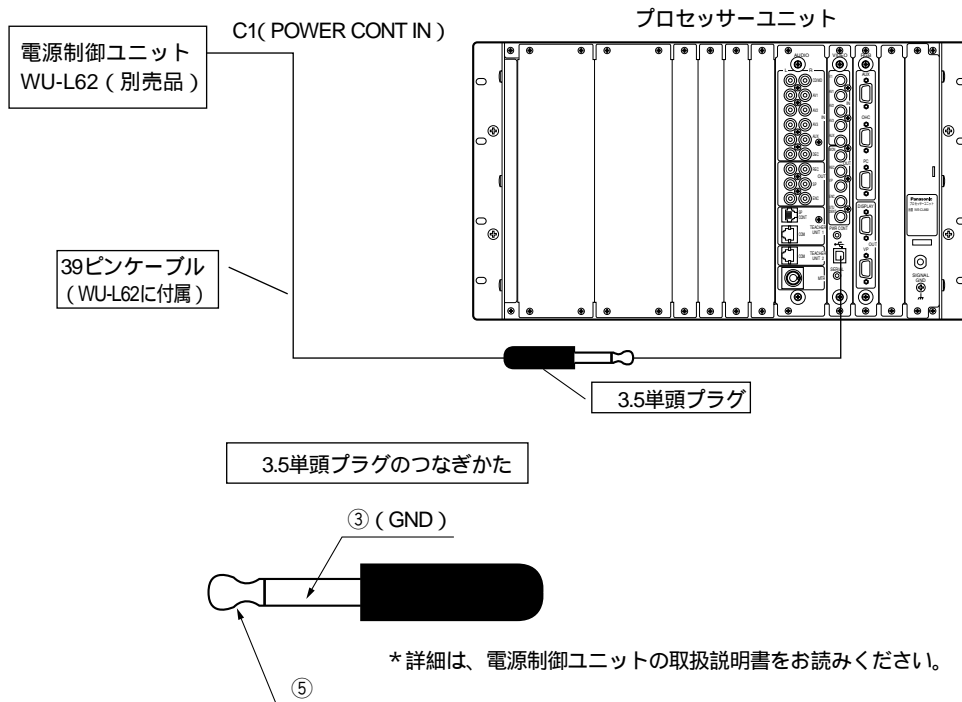
## 電源ノイズの対策

- 電源ラインからのノイズ混入を防止するために、ノイズフィルターを設置してください。
- 調光器などノイズ源となるようなものは、ノイズフィルターの入力側に接続し、マルチ学習システム機器は、ノイズフィルターの出力側に接続してください。
- ノイズフィルターの容量は、システムの仕様を考慮して設置してください。
- コントロールユニットのLAN系統線、映像系統線（ノイズフィルター出力側）と、調光器などの系統線（ノイズフィルター入力側）を束ねたり、平行にしたりするとノイズフィルターを通した意味がなくなりますのでご注意ください。



## 電源制御端子の使いかた

プロセッサユニットと連動のコンセントが必要なときは、電源制御ユニットWU-L62（別売品）を設置してください。また、連動で電源が入ったときに、電圧降下で機器が誤作動ないように配慮してください。



\* 詳細は、電源制御ユニットの取扱説明書をお読みください。

### 重要

電源制御は、プロセッサスイッチの電源スイッチと連動しています。

# カードの設定・組み込み

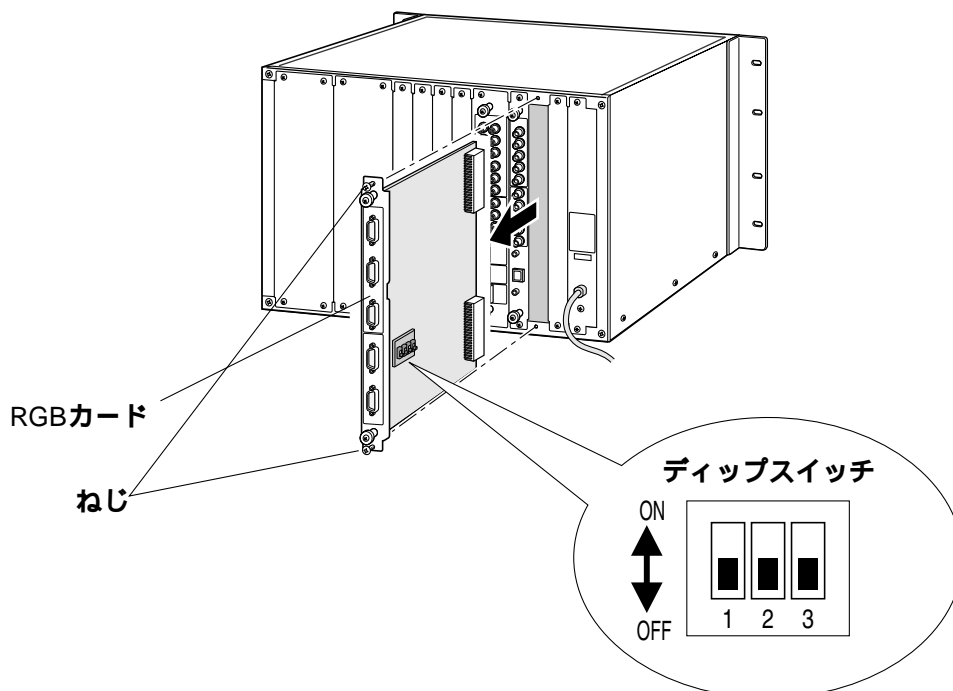
## RGBカードのスイッチ設定

### お願い

- カードの設定・組み込み時は、電源スイッチを必ず「切」にしてください。
- 人体の静電気  
カードを扱う前に、本機の金属ケース部に手で触れて、人体の静電気を「放電」させてください。  
静電防止の「リストストラップ」(手首の輪)を装着すればより完全です。
- カードの置場所  
使用しないカードは「静電マット」の上に置いてください。また、カードの金属部を他のカードの金属部に接触させないでください。
- カードのコネクターピン  
コネクターピンには手を触れないでください。  
また挿入のときピンを曲げないでください。
- これらの注意事項は、該当する設置工事、調節の全過程で守ってください。

RGBカードの [IN] にPCを接続して、OUTの [DISPLAY] に何も接続しないときは75 端子が必要になるため、RGBカード内のディップスイッチの設定が必要です。(工場出荷時は「OFF」側になっています。)

- ① RGBカードのねじをゆるめて、はずします。
- ② ディップスイッチを「ON」( 端子側) にします。
- ③ RGBカードを奥までしっかり挿入し、ねじ2本をしっかりと締めます。



## 別売カードの組み込みかた

コミュニケーションカードWE-ZC861 ..... 最大10  
 リレーカードWE-ZC862 ..... 1

- ① 背面のねじをゆるめて、ブランクパネルを外します。

### メモ

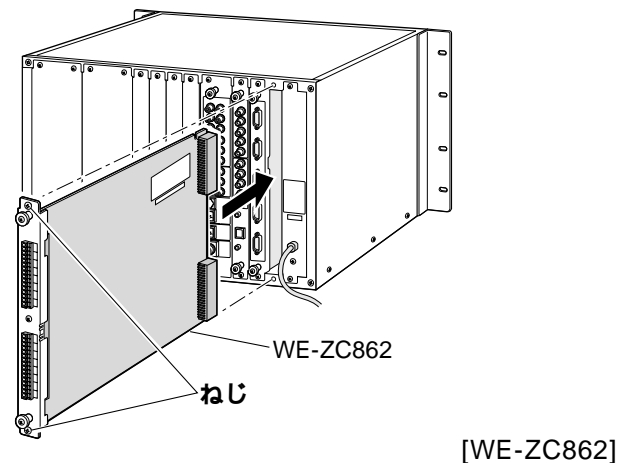
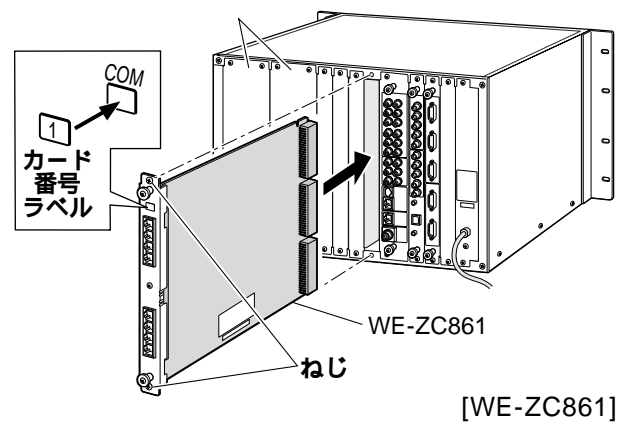
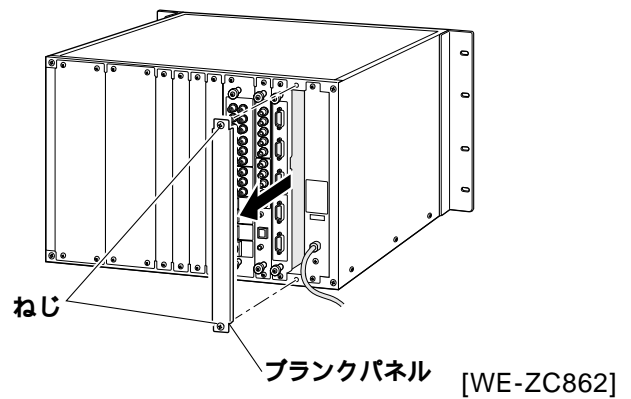
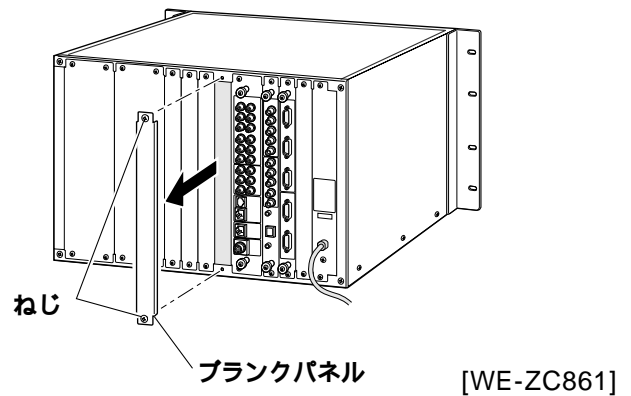
はずしたブランクパネルは、紛失しないように保管しておいてください。

- ② カードを奥までしっかりと挿入します  
 ③ カードの上下2本のねじをしっかりと締めます。

### 重要

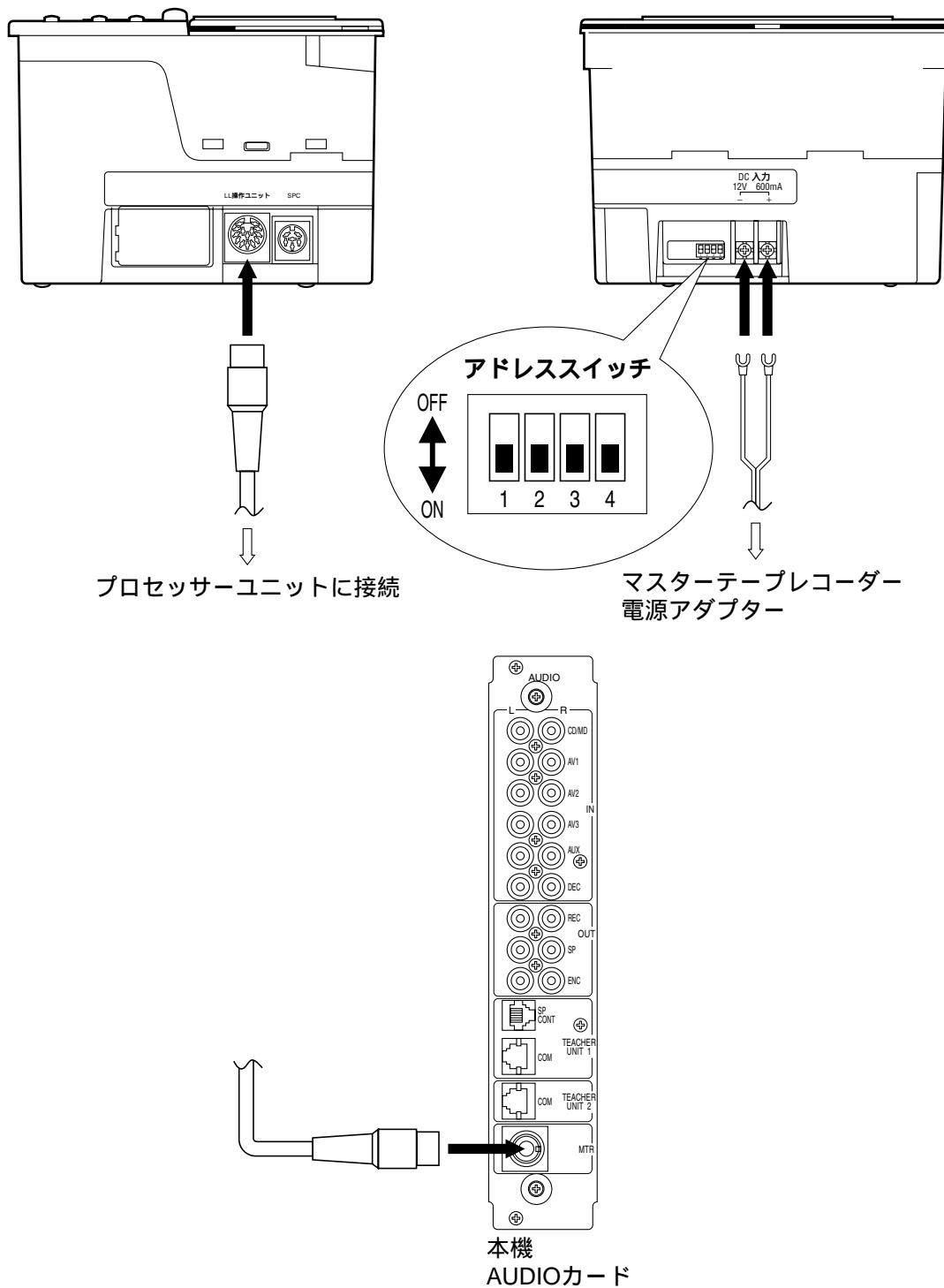
コミュニケーションカードWE-ZC861について

- 必ず右側から順番につめて接続してください。
- 3U のブランクパネルを外した場合、空きスペースがあるときは、手順1で外した1Uのブランクパネルを必要枚数装着してください。
- 本機に付属のラベルを右側から順番に1, 2, 3...となるように貼ってください。



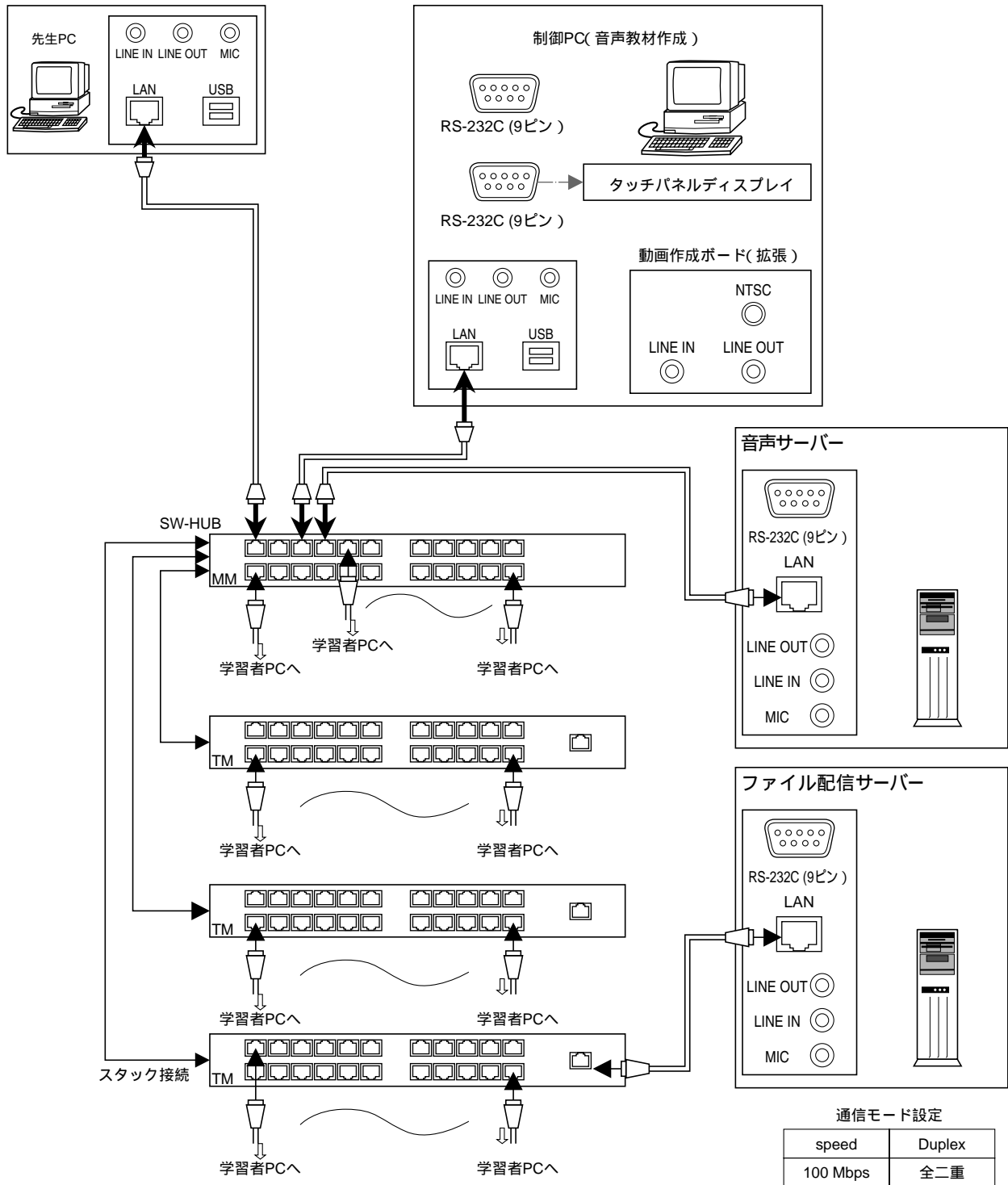
# 接続のしかた

## マスターテープレコーダー（WE-LM51）の接続



- マスターテープレコーダーの手前側面にあるアドレススイッチを、上図のようにすべて“ON”（下側）に設定してください。
- ケーブルは、専用ケーブル（WE-LM51に付属）をお使いください。

# 音声サーバー HUB パソコンの接続



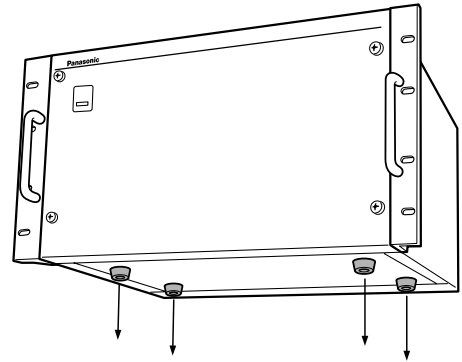
## ご注意

スイッチングHUBのオートネゴシエーション機能を使用すると、正常に動作しない場合があります。通信モードを固定した状態で使用してください。詳細は、スイッチングHUBに付属の説明書を参照してください。



# ラックマウントのしかた

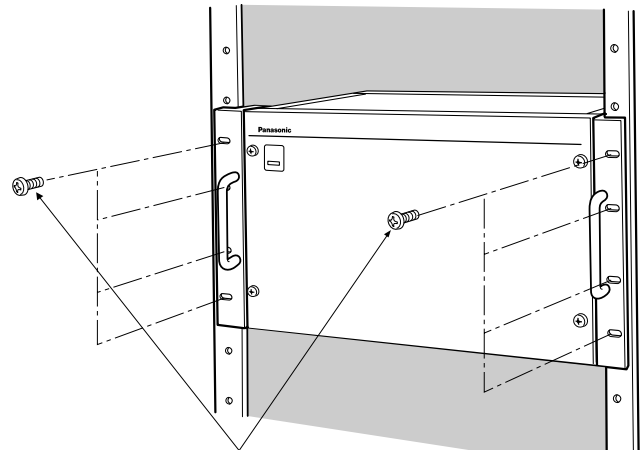
- ① 電源スイッチを「入」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 底面のゴム足を固定しているねじ4本を外して、ゴム足を取り外します。



ゴム足ははずす

- ③ 本機をラックにラック取り付けねじ（別途調達）8本で取り付けます。  
次の別売工事部品を別途調達してください。
  - ラック取付ねじ（W2-MSS/5008 20個入り）

EIA19型ラック



取付ねじ（別途調達）  
W2-MSS/5008

取り付けるラックによって、使用するねじが異なります。  
他社ラック使用時：別売りのラック取り付けねじ  
（W2-MSS/5008（別売品）または  
M5×12）

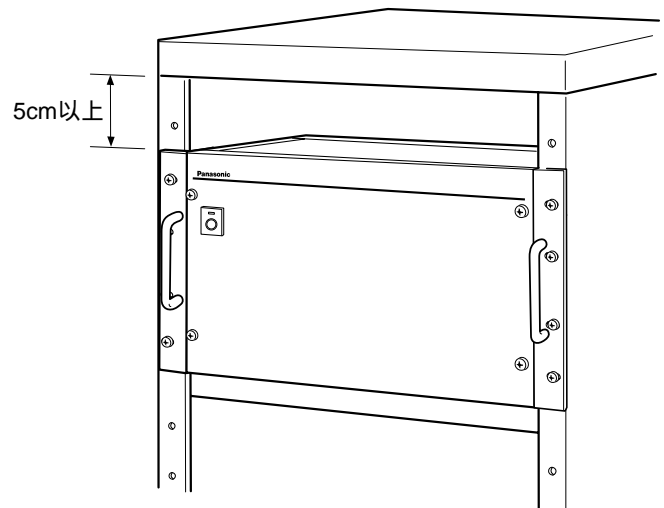
## 重要

- 振動が多い場所に設置するときは本機の後部を補強アングルなど（現地製作）でラックに固定して使用してください。
- 取付ねじはゆるまないようにしっかりと締め付けてください。
- 電力増幅器などの高発熱機器の上には設置しないでください。必ず十分に間を（1U以上）空けるか、棚板など仕切り板を取り付けてください。
- ラック内の温度が+45℃以上にならないように他の機器と十分に間を（1U以上）空けて取り付けてください。またはファンを取り付けてください。

- 袖卓などへの設置方法

## 重要

- ゴム足は取りはずさないでください。
- 本機上部は、5 cm以上空けてください。
- 袖卓などの設置場所の内部温度が+45℃以上にならないように通気を行ってください。



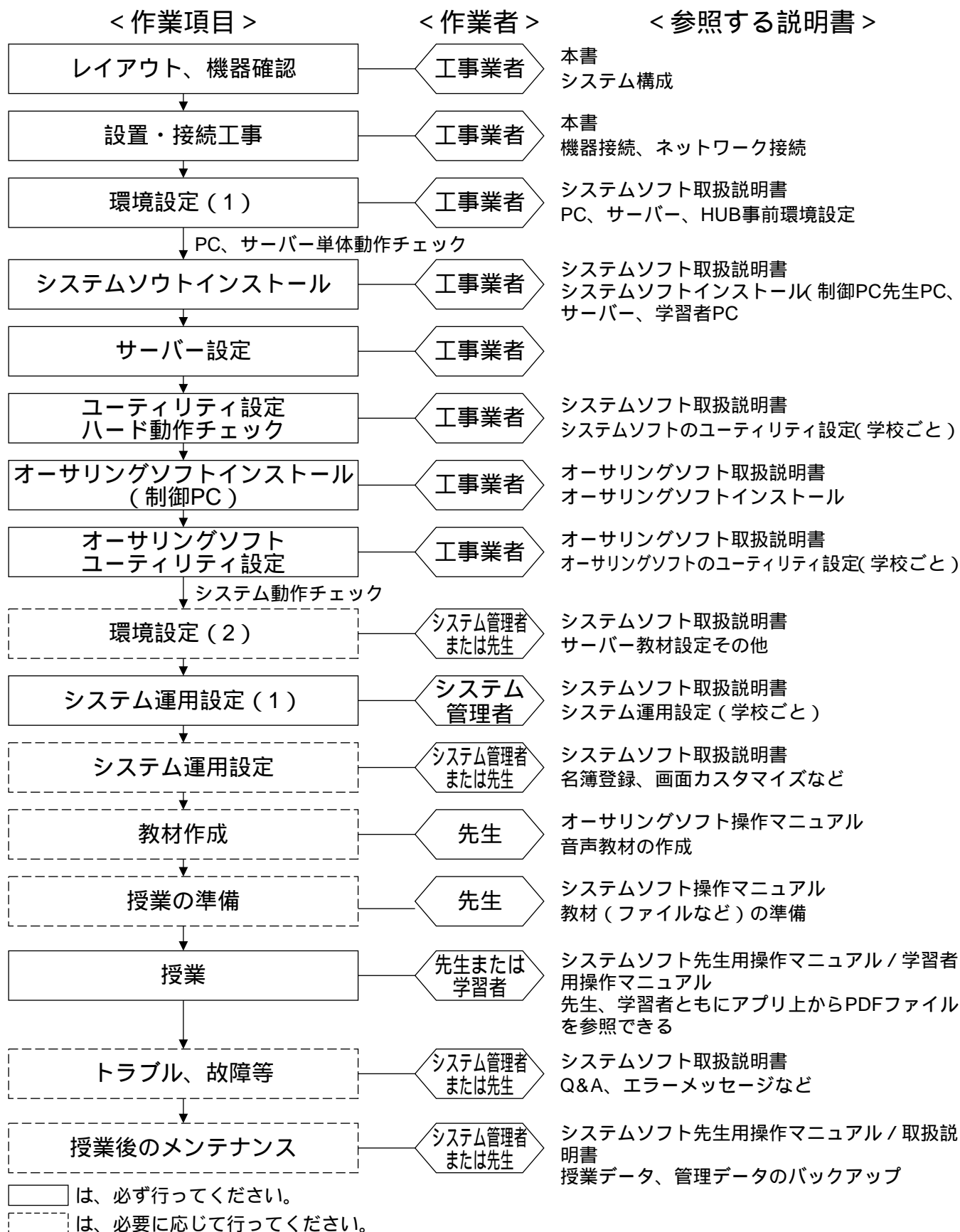
# ソフトウェアのインストール/設定/動作確認

---

本機にはソフトウェアは付属されていません。10ページの表を参考に必要なソフトウェアを別途ご購入のうえ、インストールと必要な設定を行ってください。また必要な動作チェックはインストール完了後に行いますので、ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

# 設置～運用・メンテナンスの手順

設置～運用・メンテナンスは、以下の手順に従って行ってください。



# 仕様

## 基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	約70 W
使用温度範囲	0 °C ~ +45 °C
寸法	幅480 mm 高さ273.5 mm (ゴム足含む) 奥行き394 mm
質量	約13 kg
仕上げ	前面パネル、上カバー : AVアイボリーエリオ鋼板 側面カバー : AVアイボリー焼付塗装

1	入出力名	信号入出力	レベル	インピーダンス	コネクタ形状	備考
2	V1	映像入力	1 V [p-p] NTSC	75	RCAピン	
3	AV1,2,3, AUX	映像入力	1 V [p-p] NTSC	75	RCAピン	
		音声入力	-8 dBv	10 k 以上不平衡	RCAピンSTEREO	入力レベル可変 ± 10 dB
6	MTR	音声入力	-10 dBv	22 k 以上	DIN8pSTEREO	入力レベル可変 ± 10 dB 2400 bps 偶数パリティ8 bit
		音声出力	-22 dBv	470		
		制御入出力	TTL調歩同期			
7	MD/CD	音声入力	-8 dBv	10 k 以上不平衡	RCAピンSTEREO	入力レベル可変 ± 10 dB
8	DECODER	音声入力	-8 dBv	10 k 以上不平衡	RCAピンSTEREO	サーバー音声教材一斉配信時制御PCによる代理デコード音声入力としてシステム予約で使用。
9	REC OUT	映像出力	1 V [p-p] NTSC	75	RCAピン	
		音声出力	-8 dBv	10 k 以上不平衡	RCAピンSTEREO	
10	ENCODER	映像出力	1 V [p-p] NTSC	75	RCAピン	
		音声出力	-8 dBv	10 k 以上不平衡	RCAピンSTEREO	
11	SP	音声出力	-8 dBv	10 k 以上	RCAピンSTEREO	出力レベル可変 - ~ -8 dB
12	MONIT	映像出力	1V [p-p] NTSC	75	RCAピン	
13	VP	映像出力	1V [p-p] NTSC	75	RCAピン	
14	BOOTH	映像出力	1V [p-p] NTSC	75	RCAピン	
15	PC	RGB映像入力	0 ~ 0.7 V [p-p]	75	シュリンク D-SUB15ピン	SXGAまで対応
16	OHC	RGB映像入力	0 ~ 0.7 V [p-p]	75	シュリンク D-SUB15ピン	SXGAまで対応
17	AUX	RGB映像入力	0 ~ 0.7 V [p-p]	75	シュリンク D-SUB15ピン	SXGAまで対応
18	DISPLAY	RGB映像出力	0 ~ 0.7 V [p-p]	75	シュリンク D-SUB15ピン	SXGAまで対応
19	VP	RGB映像出力	0 ~ 0.7 V [p-p]	75	シュリンク D-SUB15ピン	SXGAまで対応
20						
21	電源制御	制御出力	メイク接点	最大24 V	3.5ミニジャック	
22						
24	ブース音声 1 ~ 80	音声入出力	-10 dBv	専用I/F	RJ-45 × 8	音声 4 系統オプション
25	TU音声1	音声入出力	-10 dBv	専用I/F	RJ-45	音声 4 系統
26	TU音声2	音声入出力	-10 dBv	専用I/F	RJ-45	音声 4 系統
27	ルームSP 制御	制御入出力		専用I/F	モジュラー6P	
28	USB	制御入出力		USB1.1準拠	USB Bタイプ	
29						
30	リレー制御 1 ~ 16	制御出力	メイク接点	最大24 V	スクリューレス端子台	オプション

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロセッサユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番	WE-CL860
販 売 店 名	☎ ( ) -				

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

NM0601-0

A8QA5773AN